

科目名	芸術Ⅱ(音楽) Art II (Music)			担当教員	漆原 美紀 (窓口教員:坂本 具償)		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	一般	授業形式	講義・実技・鑑賞	科目番号	11120023	単位区分	履修単位
学習目標	1・2年次の2年間を通じて、音楽に関する基礎知識を学び、楽器演奏や歌唱を通じて基礎的表現力を身につける。音楽教養を通して創造力に富む有為な人材の育成を目標とする。						
進め方	教科書やプリントを用いて講義を進め、音楽の視聴や楽器演奏を通じて授業内容の理解や応用力を高める。適時、演習を実施し、理解度を確認する。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. ガイダンス(1) 2. 西洋音楽史 (6) 古代ギリシャ・中世ヨーロッパの音楽 ルネッサンスの音楽 バロック時代の音楽 古典派の音楽 ロマン派の音楽 3. オカリナ (8) オカリナの運指法 奏法の基礎 独奏 アンサンブル 4. ギター(10) 独奏 重奏 5. 歌唱 (3) 発声と声帯の仕組み 独唱 6. 観賞 (2) 音楽映画 (アマデウス・ベートーヴェンなど) 前期末・後期末試験(実施せず)			各時代における音楽の発展や実践、音楽様式の形成(種類や様式等)について説明できる。 それぞれの時代における音楽の特徴をとらえ、時代の変化や発展の推移を概観できる。 基本的な低音から高音までの21音をスムーズに鳴らすことができる。 基本的な演奏技能を向上させ、楽譜に忠実に表現豊かに演奏することができる。 アンサンブルの場合、全体のバランスや調和を感じ取ることができる。 弦楽奏の音色と響きを感得できる。 重奏の場合、お互いのタイミングや呼吸を感じ取りながら表情豊かに演奏することができる。 歌詞の持つ意味を理解し、楽曲独特の表情や雰囲気を感じ取り、そのイメージを表現できる。 音楽文化に対する総合的な理解を深め、そのよさや美しさを感じ取ることができる。 学習・教育目標：(A)			
評価方法	筆記試験 50%・実技試験 50%として評価する。 筆記試験・実技試験は授業中に適時実施する。						
履修要件	特になし						
関連科目	芸術Ⅰ(音楽) (1年) →芸術Ⅱ(音楽) (2年)						
教材	教科書：「Joy of Music」 著者：畑中良輔 出版：教育芸術社						
備考	芸術Ⅱにおいては、音楽か美術のどちらかを必ず履修すること。						